

第2次

両城・三条地区

まちづくり計画

みんなが愛せる理想のまちへ ～Let's try together!!～



平成 26 年 11 月 21 日(金)ワークショップ第 1 弾

平成 27 年 3 月

三条地区まちづくり委員会

～ も く じ ～

1	はじめに	P 1
2	両城・三条地区の概要	P 2
	(1) 人口・世帯数		
	(2) 区域図		
3	Welcome! 歴史再発見 階段の町へ	P 4
	(1) この町の歴史		
	(2) この町のお宝 (名所)		
	(3) お宝・名所マップ		
4	第2次 両城・三条地区まちづくり計画の骨子	P 11
	(1) 第2次まちづくり計画の概要		
	(2) スローガン (将来像)		
	(3) 振興方針		
5	両城・三条地区まちづくり計画の改定	P 12
	(1) 計画を見直す必要性		
	(2) 計画を見直す方法 (計画改定事業とスケジュール)		
6	実施計画・実施事業	P 14
7	計画改定までの流れ	P 16
	(1) 活動報告会と住民参画のまちづくりワークショップ		
	(2) 計画改定部会 (事業推進部会)		
8	計画改定に関わったメンバー	P 21
9	地域内の各種団体一覧	P 23
10	計画見直しにあたって	P 24
11	両城・三条地区の主な行事	P 25

1 はじめに

●三条地区まちづくり委員会 会長 山上 文恵

行動力を出し合って、手動式ポンプを地域の6カ所に設置したのをはじめとして、八畳岩の登山と登山道の整備、安全まちづくりマップの作成、語り部の会とソーメン流し、毎月発行のエクスプレス作成・配布、各団体主催の地域行事に参加・お手伝いを5年間頑張ってきました。

しかしながら、自分たちの活動に精一杯だったために後継者の育成や、皆さんの声を集めきれいでなかったと反省をしています。

次の5年間にむけて「自分たちの住んでいるまちを住んで良かった・住みつづけたい・移り住みたいまちにする」ために、いただきましたご意見をまとめ、計画に沿って力を合わせて、さらに活動してまいります。

これからの活動にご参加・ご協力よろしく願いいたします。



●三条地区自治会連合会 会長 中本 政人

まちづくり計画策定から5年が経過しました。この間、山上会長を中心に計画に基づきまちづくりの振興を強力に進められたことに対し、心より感謝とお礼を申し上げます。

しかしながら、計画当初より近年高齢化が進行し、両城地域を中心に生活が困難となりつつあるように思われます。

地域の皆さんが安全で安心して暮らせるとともに、多くの方々と笑顔でふれあえるような「まち」になることを願っています。



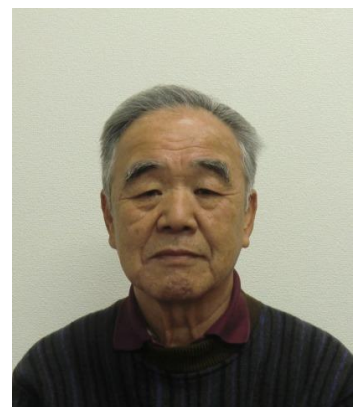
●三条地区まちづくり委員会

事業推進部会 会長 檜谷 清司

地域のまちづくりはみなさんの賛同を得て計画を作成し、少しずつ活動し輪をひろげてきました。

これからは、多くの方と話し合いながら、みんなが集える住みやすいまちづくりに努めたいと思います。

一緒にまちづくりの活動をしていきましょう。



2 両城・三条地区の概要

三条地区自治会連合会の区域（以下「両城・三条地区」という。）の概要は次のとおりです。

(1) 人口・世帯数

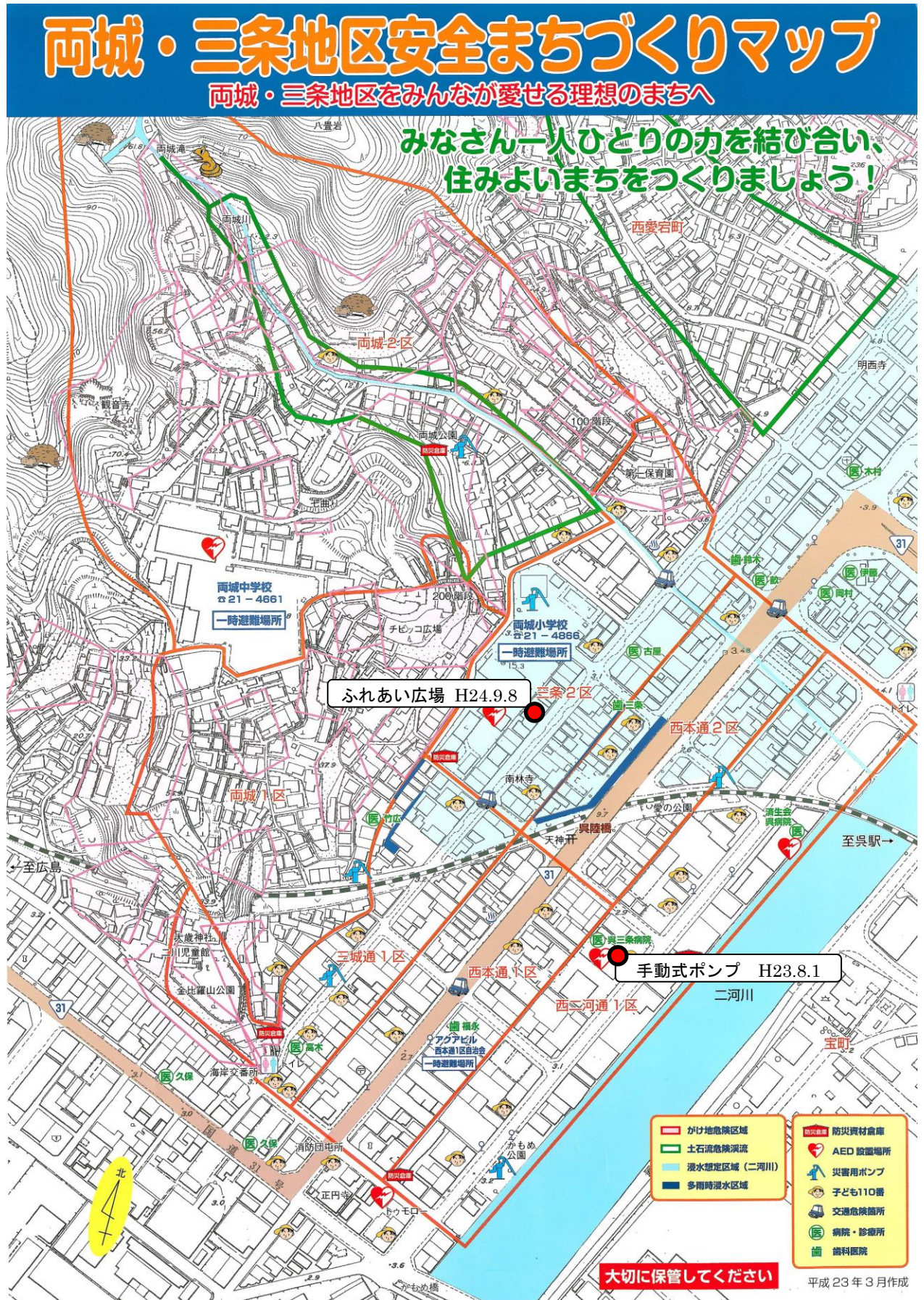
町名	世帯数 (世帯)	人口 (人)	内訳		備考
			男	女	
三条1丁目	414 (445)	842 (941)	369 (424)	473 (517)	
三条2丁目	315 (340)	606 (652)	290 (317)	316 (335)	
三条3丁目	248 (256)	437 (477)	202 (222)	235 (255)	・第8地区自治会連合会の区域を一部含みます。
両城1丁目	155 (171)	298 (349)	130 (149)	168 (200)	
両城2丁目	247 (280)	470 (544)	226 (253)	244 (291)	
計	1,379 (1,492)	2,653 (2,963)	1,217 (1,365)	1,436 (1,598)	

★平成26年9月末現在 下段の（ ）内は、平成21年3月末現在の数値

世帯数は、この5年間で113世帯（7.6%）、人口は310人（10.5%）減少しています。



(2) 区域図 (両城・三条地区安全まちづくりマップ)



平成 27 年 2 月 2ヶ所追加

3 Welcome ! 歴史再発見 階段の町へ

【まちづくり委員会の基本的考え方】

両城・三条の歴史を若い世代へ語り継ぎ、地域の宝を残していきます。
そして、我が両城・三条を地域外、市外へアピールしていきます。

私たちの住む町は、両城地区と三条地区の二つの地区から構成されています。この二つの地区を併せて「両城・三条地区」といいます。

両城地区は、坂道と階段に象徴される斜面に住宅地を中心とした市街地を形成しており、呉湾を一望できる「素晴らしい眺め」と「階段住宅」そして「呉市中心部で一番早く朝日のあたる町」としても有名です。

三条地区は、両城の斜面市街地のすそ野から二河川に至るまでの平坦地に市街地が形成され、地区内を国道31号と三城通りが南北に並行して走っており、古くは商業の町として発展していました。また、「三条」は「三城」とも書き、その名の由来は、隣の「三津田」と「両城」から一文字ずつとって「三城」となったとも言われています。

両城・三条地区は、呉市の歴史と同じように旧海軍と共に歩んできた町であり、呉市の中心部にも近く、早くから都市化が進み、交通の便や医療機関も充実した、とても住みやすい町です。それが私たちの町「両城・三条地区」です。

町のあちこちに、私たちが知らなかった素晴らしい眺望や史跡をはじめ、旧海軍や当時の市民生活をしのばせる足跡が数多くあることを知りました。

こうした町の歴史や地域資源を「地域のお宝」として、地域全体で大切に守り育てていき、地域の人だけでなく他の地域の人にも知ってもらい、次の世代の人に語り継いでいくことが必要だと感じています。

もちろん名所・旧跡といった歴史的遺産だけでなく、地域に根付いているイベントや祭り、新しく作られた「ふれあい広場」での地域住民の憩いの場と、そこで繰り広げられる行事など、ソフト面での住民交流活動も含めて、守り発展させていくことがまちづくりの基本になるのではないのでしょうか。

そこで、この地域の歴史的沿革と代表的な「お宝」（地域資源）の一部について紹介します。

(1) この町の歴史

① 二川町の沿革

私たちの町「両城・三条地区」は、川原石地区とともに明治35年4月1日に安芸郡吉浦村から分離独立して「二川町」（ふたかわちょう）となりました。

明治20年末の両城・川原石の両地区の戸数は、合わせて137戸で、人口は617人でしたが、呉鎮守府の設置（明治22年）にともなう道路・港湾等の整備により市街化が急速に進みました。

10年後の明治34年には、戸数1,567戸、人口6,909人となり、10倍以上に膨らんだ人たちにより、地区の変貌は著しいものがありました。

そのため、両地区を分離独立させることが、この地域にとって有利と考えて、明治34年7月27日の吉浦村議会で両地区が吉浦村から分離することが可決され、翌35年4月1日に「二川町」が新しく誕生することになりました。

しかし、二川町の誕生はあくまでも「呉市誕生」の一過程であったことから、半年後の明治35年10月1日に和庄町、庄山田村、宮原村と二川町の4町村が合併して呉市が誕生しました。

この「二川」の名称は、現在でも「二川まちづくりセンター」（旧二川公民館、平成26年4月1日名称変更）、「二川児童館」、「二川地域活動連絡協議会」（旧二川母親クラブ）等に使用されており、呉市の発展とともに古い町名等が消えていく中で、歴史の一頁として、いつまでも残しておきたいものです。

② 町名の由来

「二川町」の町名の由来については、次のようないくつかの説があげられています。

- ・川原石には「大下川」、両城には「両城川」という二つの川が流れているから「二川町」という説
- ・両城の「両」と川原石の「川」で「両川」。両は二つであるから「二川町」という説
- ・二河川下流の一带を総称して、二川原と呼ばれていたことがあり、この二川からとったのではないかという説
- ・二河川の本流と支流にできた「二ツ原」による説

以上のように各説が言われていますが、根拠となる明確な史実もないので、どの説が本当かよくわかりません。

(2) この町のお宝（名所）

① 大歳神社

大正時代に今の金比羅山公園にあった金刀比羅宮と和庄町にあった大歳神社を合祀して、現在の地で地域の鎮守社となりました。神社の鳥居には、普通は神社の名前が書かれています。この鳥居には所在地である「城山」と彫られています。小祭りが、11月3日に行われます。



② 正岡子規句碑

金比羅山公園の小高い有崎山に、呉湾を背にして、ひっそりと建っている碑面に「呉港 大船や 波あたゝかに 鷗浮く」（子規）とあり、子規の真筆の復刻とされています。

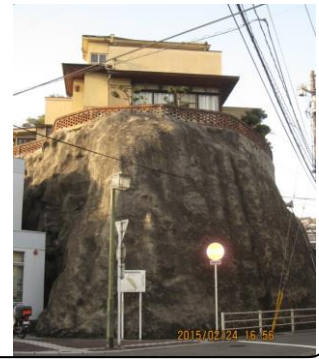
この句は明治28年3月9日に、友人が海軍の従軍記者として軍艦松島に乗り組み出征するのを見送るため、呉を訪れた子規が詠んだものです。



③ 有崎の鼻・有崎城址

三城通り南端の海岸交番横にある高さ20mほどの崖は「有崎の鼻」又は「荒崎の鼻」と呼ばれ、明治に至るまでは崖下は海で、波が打ち寄せていました。

「藝藩通史」(げいはんつうし)には、その崖上(現在の金比羅山公園)に「有崎城」があったとされています。



④ 二川地区に旧路面電車が走っていた

明治42年に日本で7番目の路面電車が、現在の三条3丁目(西六)から本通4丁目まで開通し、その後、川原石(現広島銀行川原石支店)から広長浜まで開通しました。

蒸気機関車も珍しい当時、電気で走る乗り物に驚いたものですが、チンチン電車は「呉市民の足」として愛され、昭和42年に廃止になるまで58年間走り続けました。



⑤ 呉陸橋

呉陸橋は、車道と市電が国鉄呉線と平面交差することから生じる不便さや危険性を解消するために、車道及び市電と呉線が立体交差する跨線橋にしたものです。

旧海軍のお声がかかりで基礎工事が始められましたが、終戦で一時中断となり、昭和28年、12年越しに完成しました。

この完成を待って呉市電の軌道復旧工事が開始され、陸橋の上を市電と車が並んで走る光景が見られるようになりましたが、開通後わずか13年で呉市電は廃止され、陸橋は車だけの道路となりました。



⑥ 呉天満宮

昭和30年代頃(不詳)に設置され、毎年、太宰府天満宮からお札を授かっています。

天満宮は、『天神さま』、『天神さん』と呼ばれており、菅原道真が優れた学者であったことから、天神さまは『学問の神様』といわれています。

毎年、年始めに「焼却祭(とんど)」を行っています。



⑦ 済生会呉病院

昭和5年に15床設置の呉診療所として開所され、その後、呉病院と改称、昭和27年には社会福祉法人恩賜財団済生会呉病院となりました。

現在の建物は平成7年にでき、地域に根ざした病院として大きな存在です。地域のニーズと信頼に応える質の高い医療を目指し、介護教室なども開催しています。



⑧ 三条コミュニティ道路（旧三城通商店街）

国道31号と並行して地区を南北に貫く三城通商店街は、昔から海岸通り商店街と連なり、商業の町として栄えてきました。

昭和62年にコミュニティ道路として整備され、歩道をゆったりと確保し、車輛は一方通行となりました。

通りは地域の人が、いつも植木の手入れや清掃しているのできれいに保たれています。



⑨ 呉空襲を体験した防空壕

両城小学校の西門近くに、戦争中に海軍の資材倉庫として掘られた防空壕が歴史の証人として残っています。昭和20年7月1日の呉空襲では、多くの人々が犠牲になりましたが、この防空壕に身をよせた人々は、猛火が目の前まで迫り、防空壕から脱出して、現在の両城公園付近まで避難されたそうです。



⑩ 両城小学校

明治41年、現在地に呉市立両城尋常小学校として創立（児童数：916名）。

昭和5年に現在の両城中学校の場所を本校とし、現両城小学校の校地は分教場となりましたが、空襲により焼失しました。

昭和23年、焼けた跡地に新校舎が落成し、上の学校から下の新校舎に移転後、上の学校は両城中学校に引き継がれることになりました。



⑪ 両城中学校

昭和22年に学制改革により新制両城中学校が港町小学校新宮分校を仮校舎として設立（生徒数：449名）。

翌年の昭和23年には、両城小学校が移転した跡の校舎と両城工員宿舎を仮校舎として併用し、授業が行われました。昭和36年には、火災により校舎が全焼したため、両城小学校や港町小学校の教室を借用することになりましたが、昭和37年に第1校舎が建てられ、その後徐々に増設されました。



⑫ 200階段

平地にある両城小学校と山頂付近にある両城中学校は「両城の200階段」で結ばれていますが、実際は230段近くあり、今も部活動のトレーニングに使われています。

昔は両城中が小学校3～6年生の本校であり、本校と分校の連絡は毎日、大谷を廻るか、七曲がりを廻る以外に道がなかったので非常に不便でした。その後、土地所有者の原山直兵衛さんが、裏門から上に通じる通路を思い付き、あらゆる困難を乗り越えて通学路を開通させ、市に寄附されたものです。

また200階段は、海上保安官を主人公にした映画「海猿」のロケ地にもなり、全国から見学者が訪れ、ちょっとした観光スポットにもなっています。積まれた石段を登り、振り返ると眼下には呉の町並みが広がります。手前にはJR呉線や街路が広がり、少し遠くに眼をやると呉湾に浮かぶ大型船が見えてきます。



⑬ 階段住宅と100階段

山裾で急傾斜地が多くある両城地区には、その地形を実に巧みに利用した住宅が作られました。

この地区を遠くから見ると集中する家々が階段状に見えるため「階段住宅」と呼ばれるようになりました。（中央部の階段が100階段です。）

そして、住宅の周りには明治時代後期に流行した「赤れんが」を使用した塀が数多く見受けられます。その積み方や穴形、配置などは各家独自のデザインとして現存しており、呉の歴史を語る景観の一つとなっています。



⑭ 七曲がり

七曲がりとは平地の住宅街から尾根の上の両城中学校付近まで続く、つづら折れの約150mの細い坂道です。歩いて上がるのも大変ですが、昔は、車は何度もハンドルを切り返さなければならず、スイッチバックで上がっていた、ちょっとした難所でした。実際には7回も曲がるわけではありませんが、せめて人だけでも通りやすくしようと、最短距離で上がれるコンクリート階段ができました。平成9年、大きくカーブする現在の新しい道路ができました。



⑮ 両城山・観音寺

七曲がりを登って、両城中学校右手の丘にあるお寺で、古くから弘法大師を祀るお堂があります。初代海軍鎮守府長官が海上安全を祈って不動明王を祀ったとされています。

境内からの眺望は素晴らしく、呉湾が一望できる絶好のビューポイントです。2月の節分の頃には、無病息災を祈り「火渡り」が行われています。



⑯ 両城川と両城滝

両城川は、この地域を流れるたった一本の川で、両城滝から第一保育所下の道に沿って流れ、二河川に注ぐ溪流です。滝の下から全て蓋がけされているため、現在では川の姿を見ることはできませんが、上流には規模は小さいながら、落差10mほどの「両城滝」が懸命に飛沫(?)をあげています。



⑰ 八畳岩

標高200m位で、三城通りから徒歩1時間位で到着することができます。住宅街を抜け、尾根沿いの道を経て岩にたどり着いた時の眺めは絶景で、広く平坦な岩の上に腰を下ろし、目を閉じると「呉の鼓動」が聞こえてくるようです。毎年、春と秋に八畳岩登山を行っています。



(3) お宝・名所マップ



4 第2次 両城・三条地区まちづくり計画の骨子

(1) 第2次まちづくり計画の概要

- ◆地域の一人ひとりがまちづくりの出演者として、それぞれ役割をもってまちづくりに取り組むことにより、「地域のことは地域の手で」という気運を育て、地域協働の実現を目指します。「ぬくもり」と「やさしさ」があふれる「元気のある町」、そして誰もが「住んでみたい。住んでよかった。」と思える町にしていきます。
- ◆第2次両城・三条地区まちづくり計画においても、基本的にこの考え方は変わりませんが、5年間の振り返りから、実施事業を整理して絞り込み、タテにもヨコにも人がつながるような視点を持ちながら、計画を進めていきます。

(2) スローガン（将来像）

- ◆みんなが愛せる理想のまちへ ～Let's try together!!～

この素晴らしいスローガンも引き継いでいきます。



(3) 振興方針

- ◆ふれ愛 たすけ愛 Happyな町へ

お互いにふれあい、共にたすけあうことにより子どもや高齢者にやさしく、子育てもしやすいあたたかみのある「Happyな町」を目指します。

- ◆みんなでつくろう！手づくりの町へ

道路や公園等の管理や住民活動は、行政の手をなるべく借りずに地域自らの力で実践する「手づくりの町」を目指します。

- ◆みんながつながる ほっと安心な町へ

事故や犯罪、災害に対しても安全で、安心して生活することができ、健康づくりにも前向きに取り組む「ほっと安心な町」を目指します。

- ◆ほめる しかる これぞ愛 大人と子どもの交流の町へ

子どもも大人も高齢者も世代に関わりなく交流の輪を広げ、そんな中で子どもが育っていく愛があふれる「交流の町」を目指します。

- ◆Welcome！歴史再発見 階段の町へ

「地域のお宝」を地域全体で守り育て、次の世代にも引き継いでいく中で、地域の外にも情報発信できる「文化と歴史の町」を目指します。

これら5つの振興方針もしっかりと引き継ぎ、新たにもう一つの方針をたて、発展させていきます。

- ◆タテにもヨコにも人がつながって もっと元気で住みよい町へ

各事業を実施するときに、すべての住民の皆さんとのつながりをつくって進めていきます。

5 両城・三条地区まちづくり計画の改定

(1) 計画を見直す必要性

① まちづくりを進めていく上での変化

まちづくり計画が策定されてから5年が経過しました。その間、私たちの住んでいるこの両城・三条地区でも、少子高齢化や人口減少など、地域を取り巻く状況は変化しています。

また、まちづくりを担う人たちの高齢化や固定化、そして、後継者不足も課題となっています。

② 進め方の再検討

こうしたなか、両城・三条地区に住んでいる人たちが「住んでよかった。いつまでも住み続けたい。」と思えるまちにするためには、まちづくりの進め方を再検討することが必要になってきました。

まちづくり委員会では、平成21年9月に策定されたまちづくり計画を見直すことにしました。

(2) 計画を見直す方法（計画改定事業とスケジュール）

① 5年間の振り返り

まず、現在の計画に掲げている各事業の5年間の取り組み状況の振り返りを行いました。

現在のまちづくり計画に掲げる5つの振興方針に基づく合計41の事業（まちづくり委員会が主体で実施する事業、地区内の各種団体が実施している事業を支援する形で計画に掲げてある事業も含みます。）ごとに、その成果と課題をまちづくり委員会の計画改定部会（事業推進部会）で話し合い、特定非営利活動法人（NPO 法人）呉こどもNPOセンター^{わいわいわい}YYY（以下、呉こどもNPOセンターYYYという。）の協力を得ながら、一覧表にまとめました。

主な成果としては、次のことがあげられました。

- ・両城・三条EXPRESS（エクスプレス）の発行により、まちづくり委員会や地区内の各種団体のイベント情報等の発信ができるようになった。
- ・八畳岩への登山道が整備され、安全に地域の名所である「八畳岩」に登山できるようになり、次世代へつなげていく環境が整備できた。
- ・安全まちづくりマップの作成により、地域の防災意識の向上につながった。
- ・手動式ポンプが地区内全域に設置され、災害時等の断水に対する備えができた。
- ・地域のお年寄りの様々な時代の体験談を聞く「語り部の会」により、地域の歴史を次世代に語り継ぐことができた。
- ・「ふれあい広場」への支援を行うことで、地域の誰もが集える居場所ができた。

事業方針	活動内容	① 実績	② 課題
1. 両城・三条EXPRESSの発行	両城・三条EXPRESSの発行	両城・三条EXPRESSの発行により、まちづくり委員会や地区内の各種団体のイベント情報等の発信ができるようになった。	人にまでまきまきにく、地域全体の認知を促す必要がある。
2. 八畳岩への登山道の整備	八畳岩への登山道の整備	八畳岩への登山道の整備により、安全に地域の名所である「八畳岩」に登山できるようになり、次世代へつなげていく環境が整備できた。	とどろいている必要がある。
3. 安全まちづくりマップの作成	安全まちづくりマップの作成	安全まちづくりマップの作成により、地域の防災意識の向上につながった。	とどろいている必要がある。
4. 手動式ポンプの設置	手動式ポンプの設置	手動式ポンプが地区内全域に設置され、災害時等の断水に対する備えができた。	とどろいている必要がある。
5. 「語り部の会」の開催	「語り部の会」の開催	「語り部の会」により、地域の歴史を次世代に語り継ぐことができた。	とどろいている必要がある。
6. 「ふれあい広場」への支援	「ふれあい広場」への支援	「ふれあい広場」への支援を行うことで、地域の誰もが集える居場所ができた。	とどろいている必要がある。

一方、課題としては、次のことがあげられました。

- ・地域内の行事等への参加者が少ない（特に、子どもやその親の世代を含む若者の参加が少ない）。
- ・地域行事への参加者が固定化し、高齢化している。
- ・地域内の小中学校との連携不足
- ・まちづくりを担う人たちの後継者が少ない（特に、若い世代がまちづくり活動に関わっていない）。
- ・まちづくりの担い手が固定化し、高齢化している。

② 取組事業の整理

成果をとりまとめる過程で、既に事業が終了している、手動式ポンプ設置事業については完了したことを確認しました。

また、まちづくり委員会が主体となって取り組む事業として計画に掲げた事業の内、他の団体が行き組みを進めることになった事業については、その支援を行うこととして、他団体への支援事業に移行させることにしました。例えば、高齢者の外出促進運動や活動拠点の整備などは「ふれあい広場」への支援事業としました。

また、地区内の各種団体が実施している事業への支援事業も、一つにまとめることにしました。例えば、子ども祭り、敬老会、大歳神社の祭り、ふれあい広場などがそれにあたります。

③ まちづくり報告会とワークショップの開催

平成26年11月に、まちづくり委員会の5年間の活動をわかりやすくまとめ、まちづくり報告会を開催し、地域の人たちに報告しました。

報告会に続いて、ワークショップを開催し、先の課題を解決するためにどのようにすればよいのか、多くの住民の方々から意見を出してもらいながら、計画の見直しに取り組みました。ワークショップは計4回開催しました。

④ 第2次まちづくり計画の策定

報告会やワークショップで集約した皆さんの意見を反映させるべく、第2次まちづくり計画を策定しました。前計画のスローガン（将来像）と5つの振興方針はそのまま引き継ぐとともに、振興方針に「タテにもヨコにも人がつながって もっと元気で住みよい町へ」を追加しました。

また、振興方針に掲げられた各事業は整理し、重点的に取り組む事業を絞り込みました。それは、継続や見直しが必要な事業、計画に掲げられているが未実施の事業、他団体の支援事業や今後地域内からの提案により実施する新規事業などです。

特に、これらの事業は、両城・三条地区がもっと、もっと元気で、住みよいまちになることを目指しながら、タテにもヨコにも人がつながっていくように、参加者を増やしたり、子どもや若者世代との関わりを生み出したり、小中学校との連携を深めたり、まちづくりを担う後継者を発掘するなどの視点を持ちながら進めていきます。

6 実施計画・実施事業

第2次 両城・三条地区まちづくり計画の実実施計画と実施事業

(計画期間 平成26年度～平成30年度)

1. ふれ愛たすけ愛happyな町へ

【両城・三条EXPRESS発行】

事業内容 両城・三条地区内の情報を地域内にいち早く提供するため、広報紙「両城・三条EXPRESS」を発行する。(自治会、社協、小・中学校ほか各種団体のイベントや活動情報を掲載する。)

実施主体 三条地区まちづくり委員会、両城中学校有志

対象 地域住民

実施場所 両城・三条地区

実施時期 毎月10日発行(1,300部)

協力団体 地域内の各種団体



2. みんなでつくろう！手づくりの町へ

【八畳岩登山】

事業内容 八畳岩登山及び登山道の整備を実施する。またそのことを通して地域住民の健康増進、世代間交流を図り自分たちの住む地域の良さを再発見する。

実施主体 三条地区まちづくり委員会

対象 地域住民

実施場所 両城2丁目から八畳岩まで

実施時期 毎年1回 4月上旬、不定期秋実施

協力団体 各自治会・消防湾岸分団ほか



3. みんながつながるほっと安心な町へ

【安全まちづくりマップの見直し】

事業内容 H23年に作成し、全戸配布した安全まちづくりマップの見直しに取り組む。参加者を募り、まち歩きしながらマップに沿って点検個所の確認を行い、最新の情報を掲載した改訂版を作成し配布する。また、手動式ポンプの維持など、安心・安全なまちづくりに必要な対応を行う。

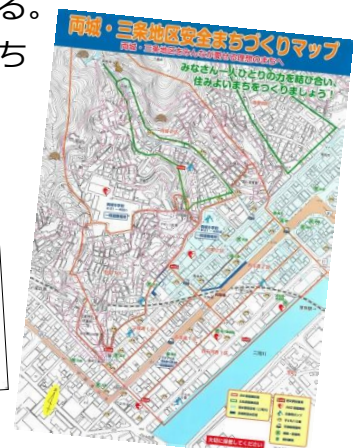
実施主体 三条地区まちづくり委員会

対象 地域住民

実施場所 両城・三条地区全体

実施時期 未定(H26～H30)

協力団体 各自治会ほか



4. ほめる しかる これぞ愛 大人と子どもの交流の町へ

【語り部の会】 →ようこそ先輩

事業内容 地域の人が、小中学生に地域の歴史や自分の経験を話し、語り継いでいく。
そのことを通して地域の人と子どもたちの交流を深める。

実施主体 三条地区まちづくり委員会

対象 小中学生・地域住民

実施場所 両城小学校 図書室

実施時期 毎年1回 8月中旬

協力団体 両城小学校・両城中学校ほか



5. Welcome! 歴史・地域再発見 階段の町へ

NEW!

【観光ガイドの養成】

事業内容 ボランティアガイドを養成し、三条の歴史を観光客に案内するとともに、地域の良さを再発見する。

実施主体 三条地区まちづくり委員会

対象 地域住民

実施場所 両城・三条地区

実施時期 未定(H26~H30)

協力団体 地域内の各種団体



【歴史マップづくり】

NEW!

事業内容 参加者を募り、地域の名所・映画のロケ地を巡る歴史・地域再発見ウォークを行い、多くの人々が地域の良さを知ることができるような「地域のお宝マップ」を作成する。

また、名所などの清掃や補修、案内板や説明板の設置なども行う。

実施主体 三条地区まちづくり委員会

対象 地域住民

実施場所 両城・三条地区

実施時期 未定(H26~H30)

協力団体 各自治会ほか



6. 地域の元気を応援します!

【支援事業】

事業内容 地域内の各種団体(本計画書P.23に掲げる地区内の各団体)の活動を人・お金・広報の面から応援する。

7. みんなの声を形に!

【新規事業】

事業内容 上記の他、地域内から提案があった各種事業については、委員会で検討したうえで実施していく。


7 計画改定までの流れ

(1) 活動報告会と住民参画のまちづくりワークショップ

この度、両城・三条地区まちづくり計画を見直すため、三条地区まちづくり委員会は、広島文化学園大学と呉こどもNPOセンターYYYの協力を得て、「まちづくり報告会」と「まちづくりワークショップ」を開催しました。

報告会では、平成21年9月に計画が策定されて以来の、まちづくり委員会が取り組んだ様々な事業の活動報告を行いました。

ワークショップは、計4回開催し、子どもから高齢者までの多くの人たちの意見が集約できました。

行事名	三条地区まちづくり委員会 活動報告会 2014 まちづくりワークショップ第1弾 「あれから5年、両城・三条地区はあなたの理想のまちに進化していますか？」
日時	平成26年11月21日（金）18：30～20：30
場所	両城小学校 図書室
参加人数	45名
内容	<div style="text-align: right;">  </div> <p>三条地区まちづくり委員会が、両城・三条地区まちづくり計画を策定してからの5年間の活動を地域の方々に報告しました。</p> <p>【報告会】</p> <p>① 主体的取り組み 八畳岩登山、広報紙「両城・三条EXPRESS」の発行、手押しポンプの設置、安全まちづくりマップの作成、語り部の会、敬老会におけるパネルの展示、行事への綿菓子提供など</p> <p>② 協賛行事 ふれあい広場、子ども祭り、七夕祭り、敬老会、焼却祭（とんど）、二河川河川敷の清掃奉仕活動</p> <p>③ 参加者の反響 参加者からは、「自分の住んでいる地域で多くの人たちがボランティアで様々なことに取り組んでいるのを知り、よりよいまちになるよう協力していきたいと思った。」などの感想が寄せられ、ほとんどの参加者が報告会について「良かった」と答えていただきました。</p> <p>まちづくり計画の見直しにつながる、「まちづくりワークショップ第1弾！」を広島文化学園大学と呉こどもNPOセンターYYYの協力を得ながら開催しました。</p> <p>④ ワークショップ 6つグループに分かれて、報告された事業についての参加の有無や、参加したいもの、参加しなかった理由や参加者を増やすにはどうすればよいかなどを話し合い、発表しました。</p> <p>⑤ まとめ スタッフを含め、地域の子どもから高齢者までの幅広い地域の皆さん、そして、広島文化学園大学の学生さんや呉こどもNPOセンターYYYの方々の参加もあり、計画見直しのための様々な意見や提言がありました。</p>

※「ワークショップ」とは、「誰か一人に頼るのではなく、みんなが意見を出し合い、まとめて、ものづくりをする。」ということです。

行事名	まちづくりワークショップ第2弾 「地域の情報、何から得る？」
日時	平成26年12月17日（水）19:00～21:00
場所	海岸消防屯所
参加人数	16名



内容	<p>① 参加者は3つのグループに分かれて「地域の情報を何から得ているのか？」について話し合いました。参加者からは、「まちづくり委員会の活動内容がわからない」、「行事に参加したくても日程が合わない」、「様々な年代の人が楽しめる行事をやって欲しい」など様々な意見がありました。</p> <p>② それらの意見を踏まえ、各自治会の掲示板などを利用して行事内容や開催場所を分かりやすく広報したり、若い人たちの地域活動への参加をお願いするなど、今後の活動に取り入れていきたいと考えています。</p>
----	---

行事名	まちづくりワークショップ第3弾 「若い人たちは、どんなまちが理想かな？その1」
日時	平成27年1月17日（土）10:00～12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	18名



内容	<p>① 両城中学校生徒さんに参加いただき、若者世代の理想のまちについて話し合いました。3つのグループに分かれて話し合った結果、「インパクトのあるチラシを作り、参加者を増やす」、「楽しめる参加賞品付きのイベント開催」、「子どもと一緒にでも、一人でも気軽に参加できるイベントに参加したい」などの意見がありました。</p> <p>② まちづくり委員会が独自で行っている行事に、より多くの人に参加するには、広報などに工夫を凝らしていくべきではないかとの提案がありました。</p>
----	--

行事名	まちづくりワークショップ第4弾 「若い人たちは、どんなまちが理想かな？その2」
日時	平成27年1月28日（水）18:30～20:30
場所	両城小学校 図書室
参加人数	18名



内容	<p>① 両城小学校・両城中学校のPTAの皆さんにも参加いただき、4つのグループに分かれて話し合いました。行事への参加者を増やすには、「広報紙の編集や内容を見直して行くべき」、「小中学校との連携を強化して、若い世代が地域活動に関わりを持つことが大切」などの意見がありました。</p> <p>② 地域情報の広報は重要で、「両城・三条EXPRESS」を毎月発行していますが、様々な世代の人に編集に参加してもらったり、行事の予告に重点を置くなど、多くの人に見ていただけるものにしていきたいと考えています。</p>
----	---

(2) 計画改定部会（事業推進部会）

計画の見直しにあたっては、まちづくり委員会の事業推進部会を計画改定部会として、広島文化学園大学の大藤教授や呉こどもNPOセンターYYYの山本理事長のアドバイスを受けながら、何度も会議を開き、議論を重ねて進めていきました。

現在の計画に掲げてある5つの振興方針に基づく合計41の事業ごとに、振り返りを行い、その成果と課題をまちづくり委員会の計画改定部会で話し合い、呉こどもNPOセンターYYYの協力を得ながら、一覧表にまとめました。

現在の計画に掲げる全ての事業を整理した結果、シンプルで誰にでも分かりやすい第2次計画を策定することができました。

振り返りから見えてきた課題の解決は、第2次計画に掲げる各事業の進め方の中で、解決していくことにしました。

行事名	★第1回計画改定部会
日時	平成26年5月17日（土）10:00～12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	15名
内容	① 広島文化学園大学の大藤教授及び学生の皆さんと一緒に、計画見直しのための振り返りを行った。まちづくり計画に掲げた5つの振興方針ごとに各部会長（リーダー）が、5年間の取り組みについて発表した。 ② 各リーダーが発表した内容を次回までに文書にまとめることになった。

行事名	★第2回計画改定部会
日時	平成26年6月21日（土）10:00～12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	17名
内容	各部のリーダーが提出した5年間の各事業の振り返りをとりまとめた。

行事名	★第3回計画改定部会
日時	平成26年7月19日（土）10:00～12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	13名
内容	① 前回とりまとめた5年間の各事業の振り返りを一覧表にまとめ協議 ② 計画見直しのための「まちづくり活動報告会」を開催することを決定し、その内容について協議

行事名	★第4回計画改定部会
日時	平成26年8月5日(火) 19:00~21:00
場所	ふれあい広場
参加人数	9名
内容	① 各事業の振り返りについて最終協議を行い、事業実績、成果の評価、課題を整理 ② 「まちづくり報告会」と「まちづくりワークショップ」の内容を協議

行事名	★第5回計画改定部会
日時	平成26年9月25日(木) 19:00~21:00
場所	ふれあい広場
参加人数	6名
内容	報告会とワークショップ第1弾を11月21日(金)に開催することを決定し、時間設定、会場、広報、報告内容、ワークショップの進め方を協議

行事名	★第6回計画改定部会
日時	平成26年10月21日(火) 19:00~21:00
場所	ふれあい広場
参加人数	9名
内容	① 報告会のチラシを確認 ② ワークショップで協議する内容と見直しによって第2次計画に掲載する課題解決のための新規事業について協議

行事名	★第7回計画改定部会
日時	平成26年11月8日(土) 10:00~12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	9名
内容	報告会とワークショップ第1弾の内容についての最終協議

行事名	★第8回計画改定部会
日時	平成26年11月29日(土) 15:00~17:00
場所	ふれあい広場
参加人数	11名
内容	① 報告会とワークショップ第1弾の振り返り ② 参加者を中心に声かけを行いまちづくり活動をPRしていくことを確認

行事名	★第9回計画改定部会
日時	平成27年1月13日(火) 19:00～21:00
場所	ふれあい広場
参加人数	9名
内容	① 報告会とワークショップ第1弾、第2弾を終えて、第3弾を実施するための協議 ② 計画見直し案の骨子を作成し、その内容を協議

行事名	★第10回計画改定部会
日時	平成27年1月28日(水) 20:30～22:00
場所	ふれあい広場
参加人数	9名
内容	ワークショップ第4弾の終了後、計画見直し案の骨子の最終確認

行事名	◆まちづくり委員会 代表者への報告
日時	平成27年2月9日(月) 18:00～18:20
場所	海岸消防屯所
参加人数	11名
内容	計画見直し案の骨子をまちづくり委員会に報告

行事名	★第11回計画改定部会
日時	平成27年2月12日(水) 19:00～21:00
場所	ふれあい広場
参加人数	10名
内容	計画見直し案の骨子を含め、第2次計画の最終確認と修正作業

行事名	★第12回計画改定部会
日時	平成27年2月14日(土) 10:00～12:00
場所	両城小学校 図書室
参加人数	7名
内容	第2次計画の修正作業



8 計画策定に関わったメンバー

(1) 三条地区まちづくり委員会 代表者 (平成27年2月末現在)

役 職	氏 名	団 体 名
会 長	山上 文恵	両城2区自治会長
副会長	中本 政人	西本通1区自治会長
副会長	太田 公史	西本通2区自治会長
会 計	岩井 博之	三城通1区自治会長
監 事	林 明美	第9・10地区 民生委員児童委員協議会副会長
監 事	若山 元子	日本赤十字奉仕団三条分団長
委 員	朝原 法江	両城1区自治会長
委 員	川本 昌亮	三条2区自治会長
委 員	中元 直己	西二河通1区自治会長
委 員	相原 梢江	両城・三条地区健康づくりのための 運動普及推進協議会会長

(2) 計画改定部会 (事業推進部会)

役 職	氏 名
部 会 長	檜 谷 清 司
ス タ ッ プ	布 村 征 司 郎
〃	相 原 梢 江
〃	末 永 哲 夫
〃	坂 本 香
〃	山 中 典 之
〃	川 崎 清
〃	佐 伯 航 一 郎

(3) ワークショップ・計画改定の参加者（第1弾～第4弾ワークショップ）

実参加人数 51名（うち幼児・小学生4名、中学生3名）

（五十音順）

氏名	氏名	氏名	氏名
相原 梢江	朝原 法江	岩井 博之	悦木 忠徳
太田 公史	大藤 文夫	大前 祥子	大本 美樹
越智 順子	越智 美幸	沖本 正樹	釜山 三重子
川崎 清	河野 喬	川原 憲治	川本 字美
國重 民子	黒沢 大樹	佐伯 優	坂本 香
坂本 香代	坂本 獅夏	末永 哲夫	瀬川 朋
谷 美緒	土村 智	中西 美智瑠	中元 順一郎
中本 政人	長重 忠昭	布村 征司郎	野島 健慎
野島 忠輔	野島 千鶴	野島 由衣	檜谷 清司
平山 理帆	藤井 香織	藤井 理帆	藤本 有希
松尾 愛	三浦 正昭	宮岡 優斗	宮本 莉乃
森山 希望	山上 文恵	山中 典之	山平 満浩
山本 和子	吉田 玲生	力安 鈴子	

(4) アドバイザー

所属	氏名
広島文化学園大学	教授 大藤 文夫
呉こどもNPOセンターYYY	理事長 山本 和子

(5) 協力（地区住民以外の参加者）

所属	氏名	
広島文化学園大学	河野 喬	藤本 有希
	宮岡 優斗	森山 希望
	黒沢 大樹	中西 美智瑠
呉こどもNPOセンターYYY	谷 美緒	瀬川 朋
呉市市民部地域協働課	川野 透	倉員 伸明

9 地域内の各種団体一覧

(平成 27 年 2 月末現在)

	名 称	略 称	代表者	連絡先
1	三条地区自治会連合会	自治連	中本 政人	21-4248
2	三条地区人権教育・啓発推進協議会	人推協	中本 政人	21-4248
3	第 9 区社会福祉協議会	地区社協	中本 政人	21-4248
4	呉市防犯連合会三条地区連合会	防犯連	中本 政人	21-4248
5	三条地区青少年補導員連絡協議会	補連協	川本 昌亮	23-9811
6	三条地区交通安全推進協議会	交通安全 推進協	川本 昌亮	23-9811
7	第 9 区・第 10 区民生児童 委員協議会	民児協	林 明美	24-2033
8	呉市日本赤十字奉仕団三条分団	日赤	若山 元子	21-4620
9	両城・三条地区健康づくりの ための運動普及推進協議会	運推協	相原 梢江	22-4801
10	大歳神社氏子総代会		荒谷 一	21-2972
11	呉市二川児童館		岩下 啓子	21-2205
12	呉市二川地域活動連絡協議会	二川母親 クラブ	山上 文恵	25-0567
13	御典（みのり）クラブ [卓球]		山中 典之	24-7286
14	三 寿 会（三条 2 区サロン）		亀田 八千代	21-3355
15	ふれあい広場三条	ふれあい	力安 鈴子	22-2967
16	呉市消防団湾岸分団		中村 丈二	22-9681
17	呉市中央西体育協会	西体協	藪田 大	23-3769
18	呉市立両城中学校		播磨 寛宗	21-4661
19	呉市立両城小学校		新田 憲章	21-4866
20	両城中学校 P T A		家頭 昌成	21-4661
21	両城小学校 P T A		中元 順一朗	21-4866
22	呉第一保育園		杉峯 ふさみ	21-4059

10 計画見直しにあたって

●三条地区まちづくり委員会

スタッフ 佐伯 航一郎

両城・三条地区まちづくり計画が策定された5年前、私は、呉市立両城中学校読書文芸部の一員として、他の仲間と一緒に、計画策定に関わらせていただきました。

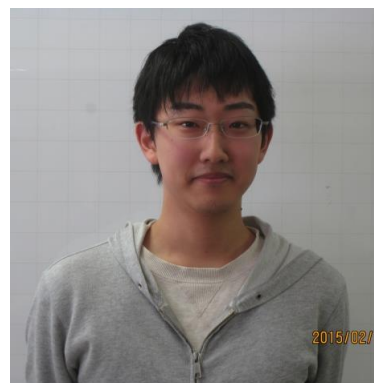
この5年間のまちづくりの活動を振り返り、私は地域に対する愛着や地域の方々との絆を深めることができたこと、そして、まちづくりが着実に進展していることを改めて実感しました。

しかし、まちづくりに参加する世代には偏りがあり、まだまだスローガンである「みんなが愛せる理想のまちへ ～Let's try together!!～」には及びません。学生を含めた幅広い世代の方々を受け身の姿勢ではなく、「地域のことは地域の手で」という気運のもと自分からまちづくりに参画していただきたいなと思います。

この改定の内容を踏まえ、私はこの愛する地域のまちづくりを担う若者として引き続き、まちづくりに協力させていただこうと思います。

学生といった若い世代もまちづくりに積極的に参加し、できる役割を担いながら、地域の方々と一緒に愛せるまちにしていけたらいいなと思います。

パソコンを使ってできることがあれば、お手伝い、ご協力いたしますので、よろしくお願ひします。



まちづくり計画策定に関わった
当時の両城中学校 読書文芸部



11 両城・三条地区の主な行事



焼却祭（とんど） 1月



節分（豆まき） 2月



ウォーキング大会
4月・11月



二河川清掃奉仕活動
4・10・2月



八畳岩登山
4月・秋



子ども祭り 5月



七夕祭り 7月



夏祭り 8月



敬老会 9月



町民運動会 9月



防災訓練 10月



大歳神社祭礼 11月



もちつき大会 12月



クリスマス会 12月



交通安全日街頭指導

それぞれの行事については、両城・三条地区の各団体が実施されています。皆さんも一度、参加してみてください。きっと、楽しいことが待っていますよ。

策定：平成27年3月

編集・発行：三条地区まちづくり委員会